

田原市臨海地区

災害時

徒歩帰宅支援 ルートマップ

徒歩帰宅支援ステーション



徒歩帰宅支援ステーションとは震災時の徒歩帰宅者に対し、下記のサービスの提供を行う施設です。愛知県ではコンビニエンスストア事業者や石油商業組合などと協定を締結しており、帰宅支援サービスを受けられるようになっています。

受けられるサービス

- 水道水・トイレの提供
- ラジオ等から得られる情報の提供

- Ⓣ 郵便局
- Ⓜ ガソリンスタンド
- ⓐ コンビニエンスストア
- 名古屋トヨペット
- モスバーガー

※地図に記載されている郵便局、ガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどの帰宅支援場所を活用ください。なお、支援場所によっては営業していない場合もあります。
※災害発生時の被害状況により、帰宅サービスが利用できない場合があります。

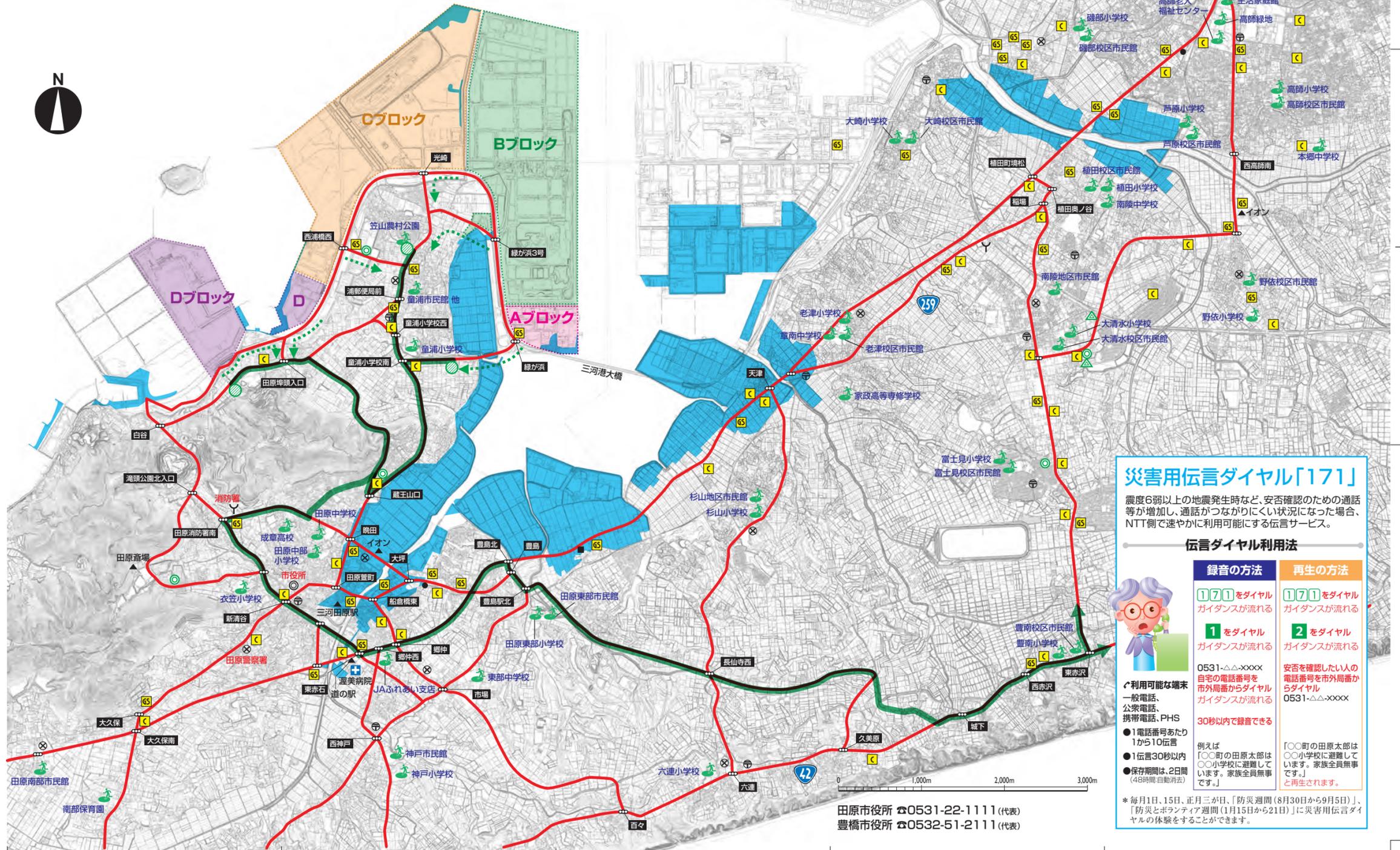
発行元 田原市役所 防災対策課
(2013年3月作成)

この地図は、田原市臨海地区で就業されている方が、東海地震警戒宣言の発令や、突発的な大地震の発生により、公共交通機関が停止し、自動車の通行も制限された場合に、徒歩で帰宅する案内を行うためのものです。

この地図には、徒歩帰宅支援ルート（推奨ルート）が記載されていますが、記載されている道路が安全であることを保証するものではありません。また、推奨ルート以外を通行することもできますが、いずれの場合も安全を確認しながら通行しましょう。

注意1：橋は落橋の危険がありますので、安全が確認されるまで通行しないようにしましょう。

注意2：大地震発生後や警戒宣言発令後は、自動車の使用は極力控えましょう。



凡例

- ← 避難ルート
- ← 徒歩帰宅支援ルート（推奨ルート）
- 主要道路
- Ⓜ ガソリンスタンド
- ⓐ コンビニエンスストア
- ◎ 市役所
- Ⓣ 消防署
- Ⓧ 警察署・駐在所
- Ⓢ 郵便局
- 🌿 地震災害避難場所 避難収容施設
- 🌿 臨海地区の一時避難場所
- 🚗 トヨタ自動車株式会社
- 🏢 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社

津波浸水想定区域
南海トラフ巨大地震による津波被害予測等を基に、津波により被害を受ける危険があると想定される区域。内閣府資料に基づき作成。

災害用伝言ダイヤル「171」

震度6弱以上の地震発生時など、安否確認のための通話等が増加し、通話がなかなかつながらない状況になった場合、NTT側で速やかに利用可能にする伝言サービス。

伝言ダイヤル利用法

録音の方法	再生の方法
<p>0711をダイヤル ガイダンスが流れる</p> <p>1をダイヤル ガイダンスが流れる</p> <p>0531-△△-XXXX 自宅の電話番号を 市外局番からダイヤル ガイダンスが流れる</p> <p>30秒以内で録音できる</p> <p>例えば 00町の田原太郎は 00小学校に避難して います。家族全員無事 です。」</p>	<p>0711をダイヤル ガイダンスが流れる</p> <p>2をダイヤル ガイダンスが流れる</p> <p>安否を確認したい人の 電話番号を市外局番から ダイヤル 0531-△△-XXXX と再生されます。</p> <p>「00町の田原太郎は 00小学校に避難して います。家族全員無事 です。」 と再生されます。</p>

利用可能な端末
一般電話、
公衆電話、
携帯電話、PHS

- 1電話番号あたり
1から10伝言
- 1伝言30秒以内
- 保存期間は、2日間
(48時間自動消去)

※毎月1日、15日、正月三日日、防災週間（8月30日から9月5日）、
「防災とボランティア週間（1月15日から21日）」に災害用伝言ダイヤル
の体験をすることができます。

田原市役所 ☎0531-22-1111 (代表)
豊橋市役所 ☎0532-51-2111 (代表)